

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ケアコミュニティ(株)	代表者	松野修典	法人・事業所の特徴	亀岡清泉荘は開設より13年目がたち、地域の方々との交流が深まっています。利用者さまは曾我部町にお住いの方が多く、昔からの顔なじみ同士で昔話に花が咲き楽しそうにお過ごしでいらっしゃいます。スタッフは親しみの中にも丁寧な態度や言葉使いで接するように心がけています。コロナ禍も収束に向かう中、インフルエンザの感染リスクも高まり地域との交流の機会は思うようにできていない。清泉荘だよりなどを発行し、ホームページでも日々の活動を掲載するなど情報発信に努めています。
事業所名	亀岡清泉荘	管理者	松野修典		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	0人	2人	0人	0人	4人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	改善計画をスタッフ全員が関わり実行、発表できるようにする。	改善計画を全スタッフと共有し、実行に移すことができました。	ミーティングの場で直接発言が難しければ、会議録などで意見をまとめるという方法をとられている事業所もある	スタッフ一人ひとりの持つ良さを見つめ直し、より強みを発揮できるチーム作りを目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	小規模の畑、花壇をスタッフ・利用者さま皆できれいにする。	清泉荘敷地、道路側の植え込み、畑などの草刈は時間を見つけて行うことができたが、一部の職員しかしていない。一部の利用者さまと行っていたが積極的に行えていなかった。	ICTの機械の仕組みを活用し、聞き取った内容が確認できるような状況が取れるのであれば、工夫していただければと思う。	多目的室の利用を自治会の回覧板で情報発信する。
C. 事業所と地域のかかわり	清泉荘だより、運営推進会議を通じて相談受付の声かけを継続的に行う。	運営推進会議にて相談受付の声かけは継続的に行った。曾我部町、東西別院の回覧版に清泉荘だより・通信を入れてもらっている。運営推進会議にて、参加者お一人お一人から意見を下さることがある。	これから高齢者がもっと増えてくると思われる。南部地区の方をできるだけ受け入れてあげて欲しい。忙しいと思うが、愛を持って接してあげて欲しい。	清泉荘だより(各回)に「相談会実施」の広報を入れる
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者さま個々の希望や目標に沿った外出支援の機会をつくる。	清泉荘敷地、道路側の植え込み、畑などの草刈は時間を見つけて行うことができたが、一部の職員しかしていない。一部の利用者さまと行っていたが積極的に行えていなかった。	普段家では会話も少ないが、清泉荘で楽しそうにしている家で見れない顔が見られる。他の方と接する機会があるのがありがたい。	回覧板など活用して情報収集し参加する。

E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の心配の方等の事例情報を聞き取り検討を行う、	地域包括支援センター、交番、市役所等との話し合いは行った。事業所利用者さまの近隣住民からの聞き取りを行った。常に連携し情報共有できている。	意見が出しやすい会議にするように運営に工夫すれば良い	包括支援センター等と共同して事例検討の時間をつくる
F. 事業所の防災・災害対策	事業所の防災訓練に参加してもらう機会をつくり、アドバイスをもらう。	消防署、自治会、消防団の方々と協力して避難訓練を行い、アドバイスを頂いた。	<ul style="list-style-type: none"> • 防災訓練をしておかないと非常時に対応が遅れるので、習慣にしていればよいと思う。 	亀岡市・曾我部町の防災訓練に参加する

